

[課程一2]

審査の結果の要旨

氏名 佐藤 栄子

本研究は、糖尿病治療に特化した Patient-Reported Outcome 尺度開発の必要性を受けて、糖尿病患者の療養関連 QOL を定量化するため、糖尿病食事関連 QOL 尺度改訂版とその短縮版、糖尿病運動関連 QOL 尺度を開発し、計量心理学的検討を行うとともに、食事関連 QOL と運動関連 QOL の関連要因を探索したものであり、以下の結果を得ている。

1. 糖尿病食事関連 QOL 尺度の一部を改訂して、糖尿病腎症患者にも適用可能な改訂版を作成し、都内クリニック通院中の 2 型糖尿病患者 184 名を対象に計量心理学的検討を行った。さらに糖尿病食事関連 QOL 尺度改訂版の計量心理学的な検討結果と、医療専門職対象のデルファイ法を用いた改訂版項目の重要性に関する調査結果から、短縮版を作成した。その結果、改訂版と短縮版は、ともに一定の妥当性、信頼性を有していることが示された。
2. 糖尿病患者の運動に関連した QOL を測定する尺度として、糖尿病運動関連 QOL 尺度を開発し、計量心理学的検討を行った結果、一定の妥当性、信頼性を有することが確認された。
3. G 県 A 市にある B 病院に通院中の 2 型糖尿病患者 276 名を対象に、自記式質問紙調査を行い、食事関連 QOL、運動関連 QOL の関連要因を探索した。結果、食事関連 QOL は、職業の有無や、BMI、HbA1c、食事療法セルフマネジメント、ソーシャルサポート、ヘルスビリーフ、医療者とのコミュニケーション、知識と関連することが示された。運動関連 QOL は、年齢や、学歴、罹病期間、HbA1c、運動療法セルフマネジメント、ソーシャルサポート、ヘルスビリーフ、医療者とのコミュニケーション、知識と関連することが明らかになった。
4. 食事関連 QOL と運動関連 QOL の関連要因のうち、セルフマネジメント、ソーシャルサポート、ヘルスビリーフ、医療者とのコミュニケーション、知識については、主にコメディカルからの QOL 向上の支援が可能であると考えられ、これらの結果から、療養関連 QOL 向上に寄与する支援の方向性が示唆された。

以上、本研究では糖尿病治療を QOL の観点から評価する必要性に着目し、臨床的な有用

性をも兼ね備えた、汎用性、利便性に富んだ尺度を開発することにより、糖尿病患者の食事関連 QOL および運動関連 QOL の定量化を可能にした。さらに食事関連 QOL、運動関連 QOL の関連要因を明らかにしたことは、今後の糖尿病患者の療養関連 QOL 向上のための支援の方向性を検討し、効率的で質の高い支援プログラムを具体化する上での基礎資料になると評価する。

よって、本研究は、我が国の糖尿病患者の QOL 研究、教育支援の分野に重要な貢献をなすものと考えられ、学位の授与に値すると考えられる。